

建物安全性の調査・診断

NIKKEN
EXPERIENCE, INTEGRATED

災害時の「人命の保護」と「事業の継続」を図るために
建物安全性の調査・診断を行います。

建物安全性の調査・診断

事業継続計画(BCP)の一環として、被災時における建物安全性の確認を行うために、適切な調査と診断を行います。

安全性調査では、各建物における各災害別(地震、津波、洪水、浸水等)のハザードレベル(被災レベル)を調査します。

その被災レベルの調査結果に対する、各建物の安全性(耐震性、機能継続性、対策有無等)について診断します。

【災害別】 【部位別調査項目/被災レベル調査】

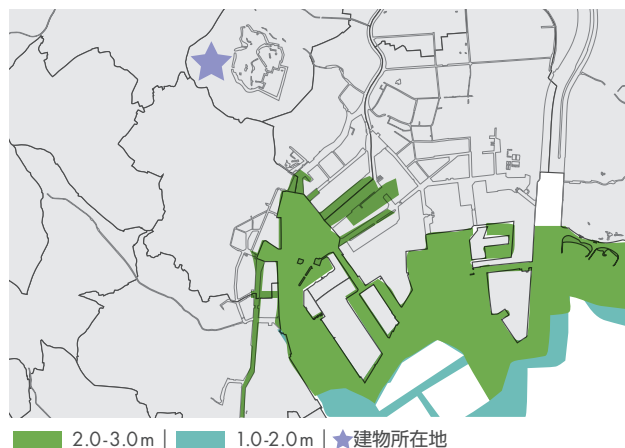
- 地震
- 構造躯体：震度、地震動、地震波、新耐震設計等
 - 建築(高天井)：各階震度、下地材質仕様・耐力等
 - 設備機器等：階別震度、取付部、転倒検討確認等
 - エレベータ設備：震度、機器仕様、長周期地震等
 - 地盤液状化：液状化エリア、液状化度合等

- 水害
- 津波：津波被害エリア、津波高さレベル等
 - 洪水：洪水被害エリア、洪水高さレベル等
 - 浸水：浸水被害エリア、浸水高さレベル等

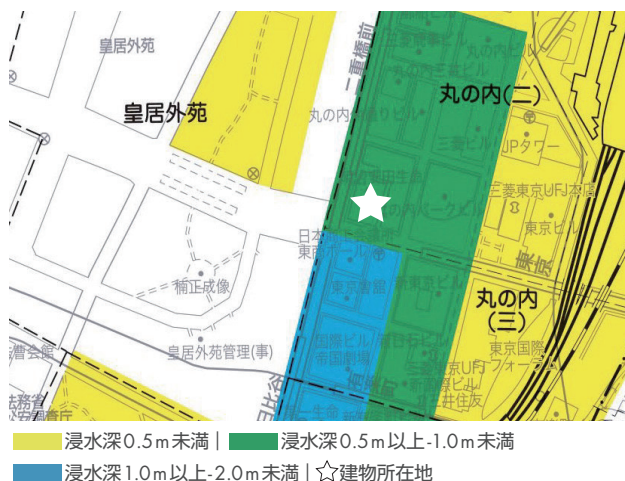
- 業務継続
被害
- 非常用電源：電源容量、設置場所等
 - トイレ：非常時の使用可否、使用継続等
 - 情報通信設備：非常時の使用可否、使用継続等
 - セキュリティ：非常時の防犯機器作動可否、使用継続等

水害被害想定調査事例

津波の予測



外水氾濫の予測



内水浸水の予測

